



# 連合徳島

vol. 266

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1  
徳島県労働福祉会館内  
tel. 088 (655) 4105  
fax. 088 (655) 4113  
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp  
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行: 日本労働組合総連合会徳島県連合会  
編集責任者 島 和 久

### 当面の日程

- 2月16日(火) 「連合白書」学習会(労働福祉会館別館5階ホール)
- 2月20日(土)~21日(日) 徳島県中小労働対策本部第25回定期総会・一泊研修会(阿波観光ホテル)
- 3月4日(金) 2016春季生活闘争勝利3・4徳島県総決起集会(藍場浜公園)
- 3月13日(日) 2016syuntoふれあいファミリーデー(あすたむらんど)



2016春闘共闘会議議長に就任した森本会長

2016春季生活闘争は「底上げ・底支え」「格差是正」の実現を通じて「デフレからの脱却」「経済の好循環実現」をめざす闘争と位置づけ、徳島市阿波観光ホテルで12月10日に2016春季生活闘争徳島県共闘会議発足総会が開かれ、各構成組織から60人が参加した。

吉野副会長の開会挨拶の後、宮本中小労働対策本部議長が総会議長に選出された。主催者を代表し森本会長が「2016春季生活闘争は、『総合生活改善闘争』の位置づけのもと、国民生活の維持・向上をはかるため、日本経済の『デフレからの脱却』と『経済の好循環実現』のためにはすべての働く者の賃金の『底上げ・底支え』と『格差是正』の実現が不可欠である。そのため、月例賃金の改善にこだわる取り組みを継続し、とりわけ中小企業で働く仲間や、非正規労働者の処遇改善に向け、より主体的な闘争を進め、大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動に挑戦する。」とあいさつ。



共闘会議の課題や取り組みを参加者全員で確認

総会方針は島事務局長が提案。2016春季生活闘争においては、あらゆる手段を用いてそれぞれの産業全体は月例賃金の改善にこだわる取り組みが運動の継続として2%程度を基準とする賃上げ要求水準を設定し、定期昇給相当分(賃金カーブ維持相当分)を含めれば、4%程度となる。また、中小共闘においては、個別賃金の絶対値にこだわり、賃金要求は額で行うことと

し、連合「地域ミニマム運動」の結果から算出した1年・1歳間差4500円と賃上げ分6000円を合計した10500円以上とした。また、生活可能な賃金水準を保障する観点から、『連合リビングウェイ』にもとづき、『最低到達水準』を設定する。非正規労働者の時給引き上げ要求水準については、『誰もが時給1000円』を掲げるとともに、『37円の時給引き上げを要求水準とすることとした。とりわけ、中小・職場組合の早期妥結に向けて構成組織間に密接な共闘体制と連携、情報公開を進めていくこと等を説明。具体的には、①賃金制度の確立・整備と賃金カーブ維持分の確保に向けた闘いの強化②職場の非正規労働者を含めた全ての働く者を対象とした賃金・労働条件等の処遇改善の交渉実施③企業内最低賃金協定の締結と水準の引き上げ④月例賃金の引き上げにこだわりつつ、年収確保の観点も含めた水準の向上・確保⑤労働時間の削減、時間外・休日労働の割合増率の引き上げ等を、すべての組合が取る

### 2016春季生活闘争行動日程

月日	曜日	行 動 内 容
11月27日	金	※第71回中央委員会(2016春季生活闘争方針決定)
12月10日	木	2016春季生活闘争徳島県共闘会議発足総会
17日	木	※第1回中央闘争委員会
1月7日	木	※2016「連合白書」学習会
15日	金	※2016四国ブロック春季生活闘争推進会議(中小労働運動交流集会)~16日(土)
19日	火	第2回五役会議
21日	木	※第2回中央闘争委員会
下旬		※連合・経団連定期協議
2月1日	月	第1次春闘キャンペーン(県下全域・地協街宣など)
3日	水	第1次春闘キャンペーン(JR徳島駅前街宣行動)
4日	木	なんでも労働相談ダイヤル(2/4~2/6) ※連合「ゆるささい! ワークルール無視!! ハート・アハハ! 契約・派遣などで働く人のための連合労働相談ホットライン」~6日(土)
5日	金	※2016春季生活闘争・闘争開始宣言2・5中央総決起集会 2016春季生活闘争開始宣言徳島集会
16日	火	第3回五役・第2回執行委員会・第2回地協代表者会議 連合白書学習会
18日	木	※第3回中央闘争委員会
20日	土	中小対策本部第25回定期総会・一泊研修学習会(~21日) *賃上げ基礎データ調査集約(2月12日まで) *賃上げ要求集約(2月19日まで)
3月1日	火	第2次春闘キャンペーン(県下全域・地協街宣など) 労働局要請交渉
3日	木	※第4回中央闘争委員会 ※2016春季生活闘争・政策制度要求実現3・3中央集会 徳島県要請交渉
4日	金	2016春季生活闘争勝利徳島県総決起集会(藍場浜公園 18:00)
5日	土	3・8国際女性デー徳島駅前行動 3・8国際女性デー徳島集会
8日	火	※3・8国際女性デー全国行動・中央集会
10日	木	経営者四団体要請交渉
11日	金	2016春闘勝利徳島県公務員サービス労働者総決起集会
13日	日	2016syuntoふれあいファミリーデー
14日	月	先行組合回答ゾーン~18(金)
22日	火	中堅・中小集闘回答ゾーン~25(金)
4月1日	金	※2016春季生活闘争・共闘推進集会
8日	金	2016中小春闘勝利 未解決組合支援推進徳島県総決起集会

※ 連合本部・四国ブロック行動

## すべての働く者の処遇改善! 「底上げ・底支え」「格差是正で 経済の好循環実現!

2016春季生活闘争 県共闘会議発足総会

### 2016春闘すべての働く者の処遇を改善!

#### 運動の継続としての「2%程度基準」を設定

「底上げ・底支え」「格差是正」の実現を通じて「デフレからの脱却」「経済の好循環実現」をめざす闘争と位置づけ、徳島市阿波観光ホテルで12月10日に2016春季生活闘争徳島県共闘会議発足総会が開かれ、各構成組織から60人が参加した。

吉野副会長の開会挨拶の後、宮本中小労働対策本部議長が総会議長に選出された。主催者を代表し森本会長が「2016春季生活闘争は、『総合生活改善闘争』の位置づけのもと、国民生活の維持・向上をはかるため、日本経済の『デフレからの脱却』と『経済の好循環実現』のためにはすべての働く者の賃金の『底上げ・底支え』と『格差是正』の実現が不可欠である。そのため、月例賃金の改善にこだわる取り組みを継続し、とりわけ中小企業で働く仲間や、非正規労働者の処遇改善に向け、より主体的な闘争を進め、大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動に挑戦する。」とあいさつ。

総会方針は島事務局長が提案。2016春季生活闘争においては、あらゆる手段を用いてそれぞれの産業全体は月例賃金の改善にこだわる取り組みが運動の継続として2%程度を基準とする賃上げ要求水準を設定し、定期昇給相当分(賃金カーブ維持相当分)を含めれば、4%程度となる。また、中小共闘においては、個別賃金の絶対値にこだわり、賃金要求は額で行うことと

り組むべき課題とした。また、1月以降の行動計画や闘争体制なども確認し、森本会長が共闘会議議長に就任した。矢副副会長は閉会挨拶後、森本共闘会議長の団結ガンバローで発足総会を終了した。

### 2016春闘の課題や認識の共有化を

#### 四国ブロック春季生活闘争推進会議

2016春闘にむけて、連合四国ブロック春季生活闘争推進会議は1月15日、高知市のホテル三翠園で開催され、四国各県・連合本部から37人が参加した。

本会議は毎年春闘前に開催され、春闘方針・中小共闘方針・非正規共闘方針について課題や認識を共有化するために開催されているものである。



四国各県・連合本部から37人が参加

山本連合副事務局長・非正規労働センター総合局長からは「職場で非正規労働者の組織化や処遇改善の取り組みに先頭に立てるのは、労働組合しかない」と挨拶したうえで、職場・地域から運動を広げようと、非正規労働センターの取り組みを報告した。また、須田

今春闘はすべての働く者の処遇改善で、デフレからの脱却、経済の好循環実現に向け取り組むことを、参加者全員で確認する推進会議となった。

## SO GOOD! 政策

「ルールを守りましょう」と言われて育ったのに、国の最高権力がルールを守らないとしたらどうでしょう。実は今、そのようなことが起きているのです。私の考えは次のとおりです。

**1** **国家権力を縛り、暴走を防ぐために作られた憲法にしたがった政治を取り戻します。**

その憲法に違反し、国民からたくさん異議や疑問が出ていたにもかかわらず、安全保障関連法は強行採決されてしまいました。私は、一旦立ち止まって、国民全体で議論を深め、落ち着いた語をするために、安全保障関連法を廃止します。万が一の事態には日米安全保障条約の下、個別の自衛権の行使で対処できることや、海外で戦争を支援することによるテロの誘発の危険性があることを理解する必要があります。安保法を廃止したうえで、日本の平和のために何が必要かを考えます。

**2** **地域・地方が元気にならなければ、国全体は元気になりません。**

まず足元から、一隅を照らす政治を目指し、地方を愛する「人」が主役の、地方活性化を促進します。

地域・地方の特色や資源、その土地に住む人ならではのアイデアやネットワークを活かした地方の活性化を実現します。地方の魅力のアピールとともに、移住支援にも力を入れて取り組みます。

### 第24回参議院議員選挙 徳島・高知選挙区

おにし そう 聡  
弁護士 **大西 聡**

**3** **人は食べなければ生きていけません。命の基である農林水産業等の第一次産業を全力で応援します。**

食料自給率の向上や、輸出などに向けて、時代とともに変化したシステムを柔軟に取り入れ、第一次産業を発展させます。

**4** **しあわせは結果だけではなく、日々の生活の過程にこそあります。安心して就労し、生活できるような労働法制を実現させます。**

目先の利益にとらわれると、労働者の地位を不安定にし、ひいては業績低下を招きます。目先の利益にとらわれることなく、企業も労働者ともに発展する経済を目指します。

**5** **子育てを支援し、人を育てる教育を推進します。**

教育は国力の基礎になる大切なものです。学びたい全ての人が、豊かに学べる教育を実現します。例えば、「奨学金」という名前通りに、学習を奨励する補助金にします。

**6** **女性も男性も平等で暮らしやすい社会を実現します。**

女性も男性もともに人として尊重しあえる住みよい社会は発展の基礎です。そのような平等で暮らしやすい社会を目指します。

**7** **災害対策を強化し、エネルギー政策の転換を図ります。**

3.11は、私たちに多くのことを教えてくれました。この教訓から学び、災害に対する「安心・安全で具体的な対策」を強化し、再生可能エネルギー政策への転換を図ります。

連合徳島地域ユニオン  
第7回定期大会

組織拡大・組織強化に向け、地域に根ざした運動を

連合徳島地域ユニオン第7回定期大会が2015年12月13日に連合徳島会議室で開かれ、地域ユニオンに加盟する労働組合、連合徳島構成組織から15人が参加した。

冒頭、森本委員長から「連合徳島地域ユニオンは、一人でも加入できる組合である。連合徳島は、組織拡大・組織強化については、2年間の拡大目標を8000人と定めて取り組む。その一つのきっかけともなる『労働相談ダイヤル』にも継続して対応する。連合徳島が

徳島ペプシコーラ販売労働組合を結成

連合徳島地域ユニオン第7回定期大会終了後、徳島ペプシコーラ販売労働組合結成大会を行い、徳島ペプシコーラ販売で働く仲間および連合徳島から15名が参加した。

冒頭、新しく就任した島執行委員長から「連合は、全国で加盟組合員が682万人余り、徳島県では、3万3千弱が加盟している日本最大の労働組合の連合体である。現在、目指すべき社会像として『働くことを軸とする安心社会』を提起し、その実現に向けて取り組んでいる。私たちは、これからも、社会の公正を追

地域に根ざしたものとなるよう、月1回以上の街宣行動やリニューアルしたホームページを活用しながら存在感・発信力を高めていく。2015年は地域ユニオンにとって久々の新規加入組合が出来た。また、本定期大会終了後、新たに労働組合結成大会を行い、今年度2つ目の新規加盟となる。」とあいさつ、続いて、活動報告、会計報告を一括報告し、活動方針、新役員体制等を提案され、参加者全体の拍手で承認された。



新任の島執行委員長団結ガンバロウ

い求め、組合員だけでなく、まず、すべての働く人々とその家族の暮らしのために取り組んで行く。」とあいさつ。続いて全国一般徳島地方労働組合原田執行委員長から「『労働三権』（団結権、団体交渉権、団体行動権）は憲法で保障され、労働組合は、労働者が団結すれば、いつでもどこでも自由につくれる。個人で会社に交渉しても相手にしてくれないが、労働組合が団体交渉を申し入れすれば、会社は拒否ができません。拒否すれば不当労働行為である。これから、力を合わせて頑張っていこう」

と激励あいさつ。議事では、「活動方針案」「2016年度会計予算案」「役員選出」「組合規約」を提案され、全員の拍手で承認された。続いて、島執行委員長から下村執行委員長に組合旗を贈呈。下村執行委員長の団結ガンバロウで結成大会を終えた。



島執行委員長から下村執行委員長に組合旗贈呈

大学・商業施設等に期日前投票所を

—連合徳島が県選管に要望—

公職選挙における投票率は低下傾向をたどり、とりわけ20代前半の若者の投票率低下に歯止めを掛けよう、森本会長、矢嶋副会長、島事務局長は14日、徳島県内の大学および商業施設等に期日前投票所を設置するよう求める意見書を県選挙管理委員会に提出した。意見書では6月から選挙権年齢の引き下げられる中で、日本が抱える諸課題と向き合い、解決していかなければならない世代の若者に、政治参画の第一歩としての投票行動を促進する環



森本会長が県選管に意見書を提出

境整備が必要だと指摘。大学や商業施設等に期日前投票所を設置することで投票率の伸上が期待できるとして、市町村選管に設置を促すことを求めた。

2016活動方針満場一致で承認

第24回参議院選挙勝利へ意思統一

12月12日労働福祉会館で連合徳島2015青年委員会総会を開催し、11構成組織から40名が参加した。

冒頭、青年委員会を代表し、小畑委員長(電力総連)が、「連合は『働くことを軸とする安心社会』の実現に向けて取り組んでいる。今年度は、労働者保護ルール改善阻止の運動を展開したが、安倍政権は数の力で、労働者派遣法の改悪をし、強行採決を行った。ブラック企業、ブラックバイト、パワハラ、マタハラなどのハラスメントが大きな社会問題になってきている。青年委員会として、連合徳島の活動

に積極的に参加し、改悪を阻止することに取り組んでいく。」とあいさつ。連合徳島森本会長から「今年度は、戦後70年の節目で、連合徳島青年・女性委員会が沖繩を訪問し、戦争の悲惨さ等の平和学習を企画したが台風で中止になり、11月に高松で四国ブロック青年・女性委員会の平和学習会開催した。又、来夏に実施される第24回参議院議員選挙については、『政治は私たちの生活に直結し、すべての働く者・生活者の希望と安心を取り戻すために、連合推薦立候補予定者全員の当選に向け、ご支援・ご協力をお願いする』と激励あいさつ。総会は菅浦事務局長が2

015年度活動・会計を報告するとともに、2016年の活動方針では①幹事会の定期的な開催②青年委員会ニュースの発行③女性委員会との合同研修会の実施などが提案され、満場の拍手で承認された。最後に新役員体制を確認し、小畑委員長からの団結ガンバロウで閉会した。



40人が参加、意思統一

青年委総会

役職	名前	構成組織
委員長	小畑 文人	四国電力総連
副委員長	桑原 将司	電機連合
事務局長	菅浦 智之	自治労
事務局次長	近藤 俊英	J P 労組
幹事	志築 勇太	全水道
幹事	川満 出	UAゼンセン
幹事	小石 和平	国公総連
幹事	横井 裕輔	J A M
幹事	山田 雄作	農協労連
幹事	佐々木 崇志	全国一般
幹事	濱垣 謙	四国労金労組

015年度活動・会計を報告するとともに、2016年の活動方針では①幹事会の定期的な開催②青年委員会ニュースの発行③女性委員会との合同研修会の実施などが提案され、満場の拍手で承認された。最後に新役員体制を確認し、小畑委員長からの団結ガンバロウで閉会した。



相談ダイヤル利用を宣伝

全国一斉・連合「労働相談ダイヤル」の未払い等に関する相談が12件寄せられた。

労働相談ダイヤルで駅前街宣行動

全国一斉キャンペーン

連合公式Facebook  
単組・支部へ  
周知・拡散のお願い

会長のテレビ出演等の通知や各種集会・行動等の告知を行います。インターネット選挙運動の解禁により、参議院の本番期間における選挙活動においても情報発信が可能となります。



連合メールマガジン  
登録のお願い

「連合メールマガジン(通称:ユニマガ)」は、単組・支部や職場など組織の隔々まで連合運動を伝え、つなげていくため、連合からの情報を直接手元に届けることを目的に行っています。

